

2021年2月24日

仙台市

東北学院大学

東日本電信電話株式会社 宮城事業部

小学校でICT技術を活用した防災学習を実施します

このたび、仙台市、東北学院大学、東日本電信電話株式会社宮城事業部(取締役宮城事業部長：滝澤 正宏、以下、NTT 東日本)が連携し、ICT技術を活用した防災学習を実施します。

今回の防災授業は、市教育委員会が導入を進めている、市立小中学校の児童生徒1人1台の情報端末を活用し、教育委員会と東北学院大学の共同研究「GIGAスクール構想実現のためのSINET活用等に関する研究」、併せてNTT東日本が進めている「東日本大震災学習の教育プログラム化」の検討の一環として行われるものです。

授業では、360度カメラで撮影した震災遺構仙台市立荒浜小学校の画像を活用したバーチャルツアー体験や、教室と震災遺構仙台市立荒浜小学校をインターネットでつなぎ震災遺構職員による震災当時の説明を受けます。この授業を通じて、発災当時0、1歳だった児童が震災を自分事として捉え、震災の教訓から地域における防災について考えます。

1 授業内容

(1)日時 3月2日(火)9:20~10:00

(2)場所 高森小学校 3階視聴覚室

(3)対象 高森小学校5年1組(児童数36名)

(4)内容

東日本大震災で荒浜小学校が受けた被害の様子を学習するとともに、自然災害から自分の命を守るために大切なことを考えるもの。

2 取材について

(1)取材を希望される場合は、3月1日(月)正午まで教育指導課宛てにご連絡ください。

(2)取材の際は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、体温計測やマスクの着用、手指等消毒などの対策をお願いします。

(3)授業終了後、児童、教育委員会における情報化推進にご協力をいただいている東北学院大学文学部教授の稲垣忠(いながき・ただし)氏、NTT東日本の担当者が囲み取材に応じます。

(4)問い合わせ先

①本件の概要、教育委員会での情報化推進について

教育局教育指導課 大友(022-214-8421)

②震災遺構仙台市立荒浜小学校について

まちづくり政策局防災環境都市・震災復興室 佐藤(022-214-1103)

③NTT東日本における取り組みについて

NTT東日本 宮城事業部 企画部広報担当 佐藤、遠藤(022-269-3040)

3 教育委員会、NTT東日本における取り組み

(1)教育委員会の取り組み

教育委員会では児童生徒に震災の教訓を伝え、災害に関する正しい知識や災害対応力を身に付けてもらうため、仙台版防災教育副読本や震災遺構仙台市立荒浜小学校の活用を促進しています。

(2)NTT東日本における情報教育推進の取り組み

NTT東日本では、GIGAスクール構想など、急速にICT化が進む教育現場におけるICTを活用した教育環境を整備するため、フレッツ光による安定した通信環境や「ひかりクラウドスマートスタディ」等のツールを活用した、1人1台端末が配備された後の持続的な利活用促進など、新しい学びの実現に向けて積極的に取り組んでいます。

<参考> 今回実施する防災学習のシステム構成

(URL: https://www.ntt-east.co.jp/miyagi/information/detail/pdf/20210224_02.pdf)